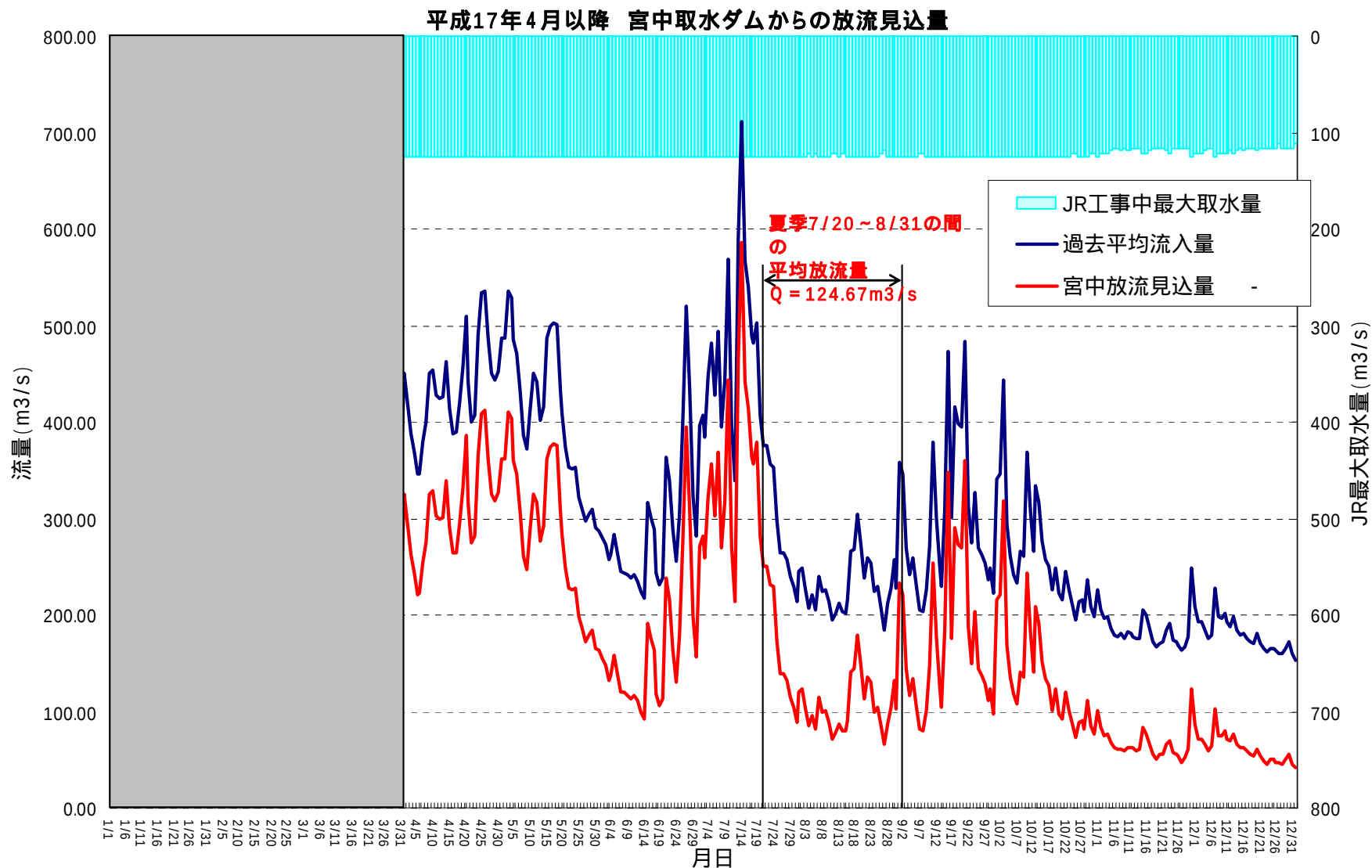


今後の水環境改善 に向けた取り組み

平成17年4月以降の宮中取水ダム放流見込量



- ・今夏季には従来の減水が発生しないと見込まれる。
- ・なお、復旧の進捗状況を常に把握し、復旧が早まる等の情報を得た時点で、調査内容の見直しを行い、必要に応じて協議会の了解を得て調査を進めて参りたい。

H17年度 調査内容

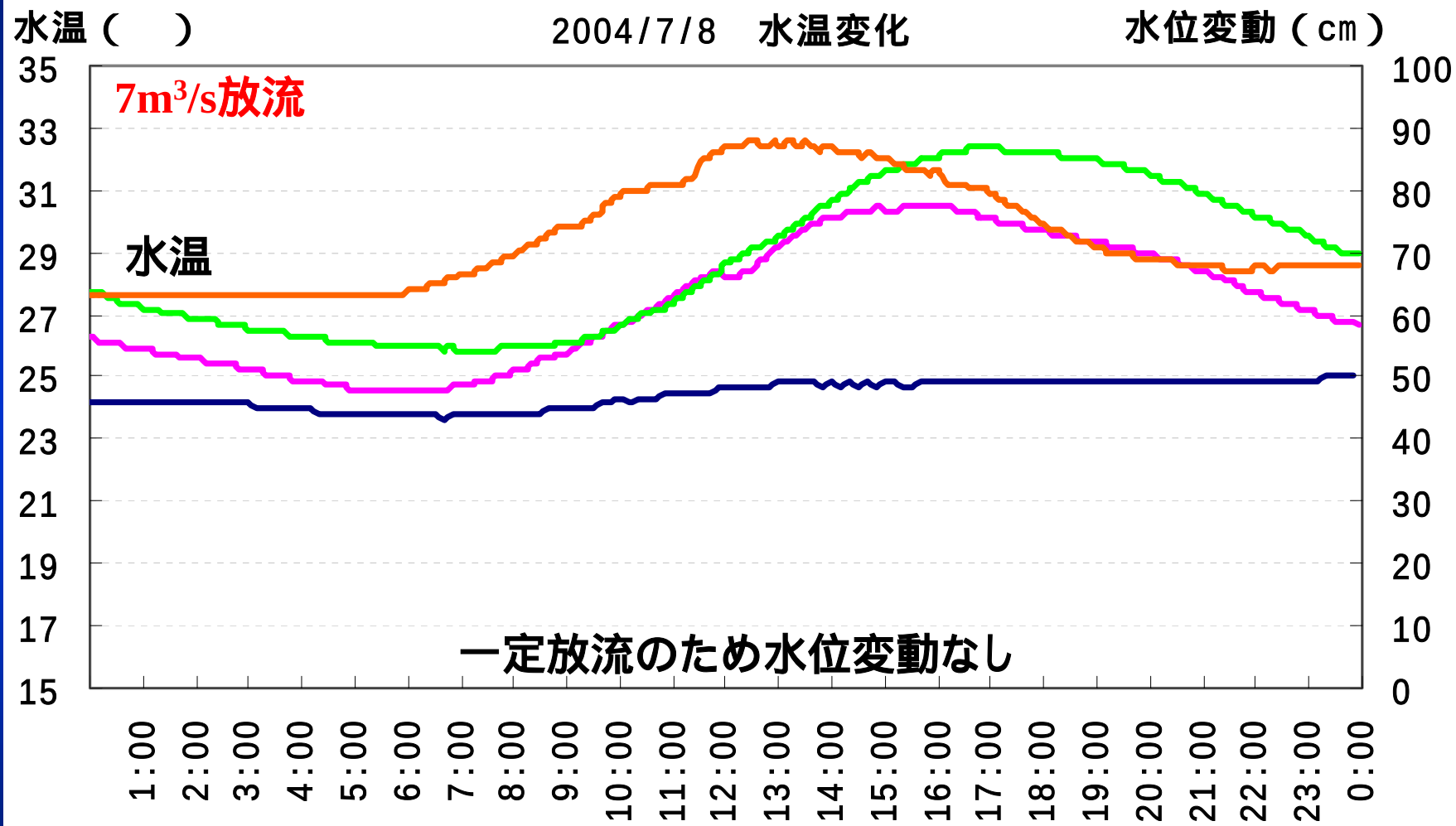
気象観測・水温観測の実測を行い、水温上昇の実態を把握する。

従来から行っている付着藻類・底生生物・魚類の定期生物調査を行い、流況が良い(平均流況から70m³/sを超える)状態でのデータを把握する。

宮中魚道本体では、遡上環境改善に効果的な改良や大型魚道適正放流量提案の検証を行う。

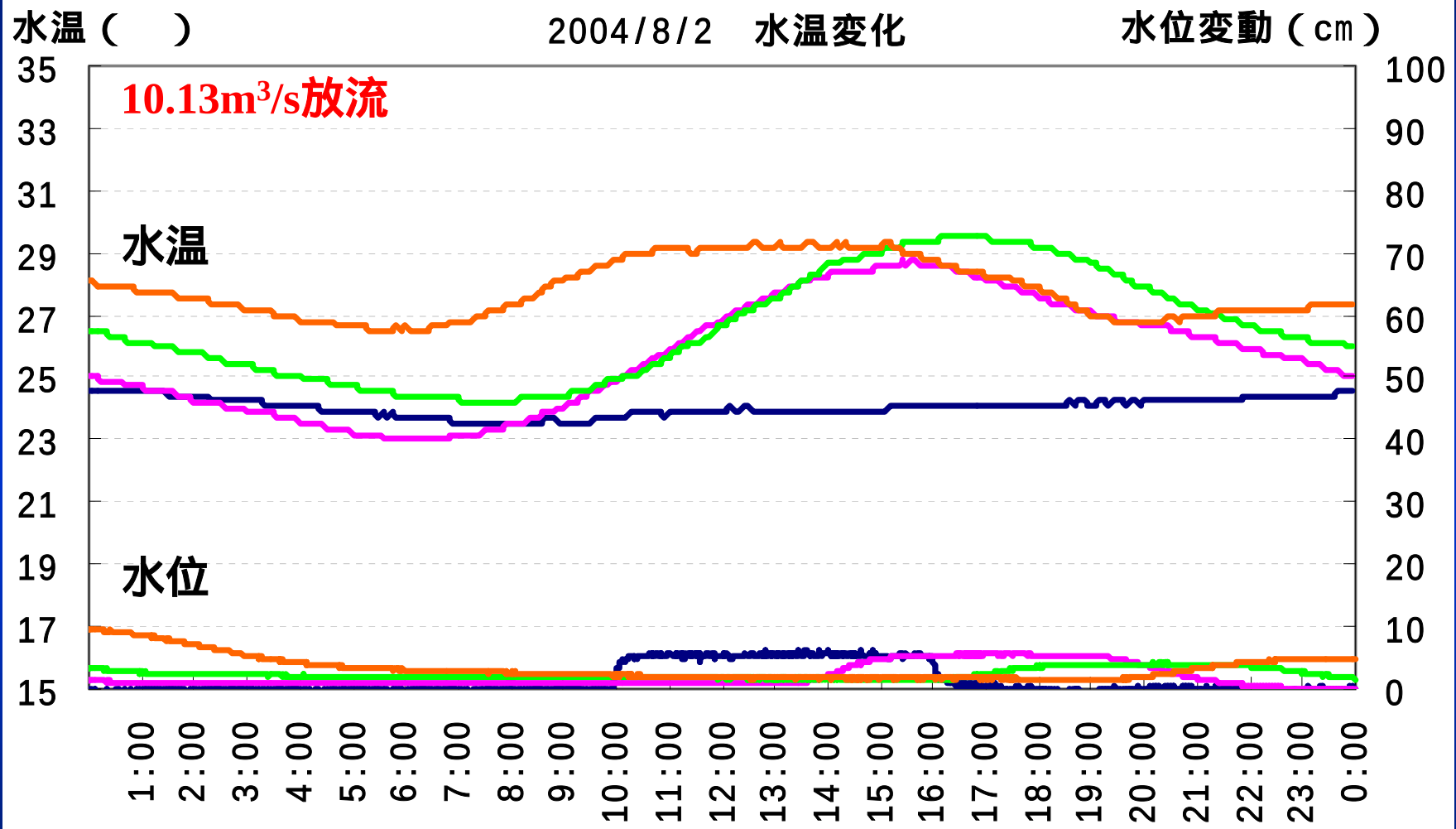
7m³/s放流時の水温変化

— 宮中 — 十日町橋
— 栄橋 — 川井



10.13m³/s放流時の水温変化

宮中 十日町橋
栄橋 川井

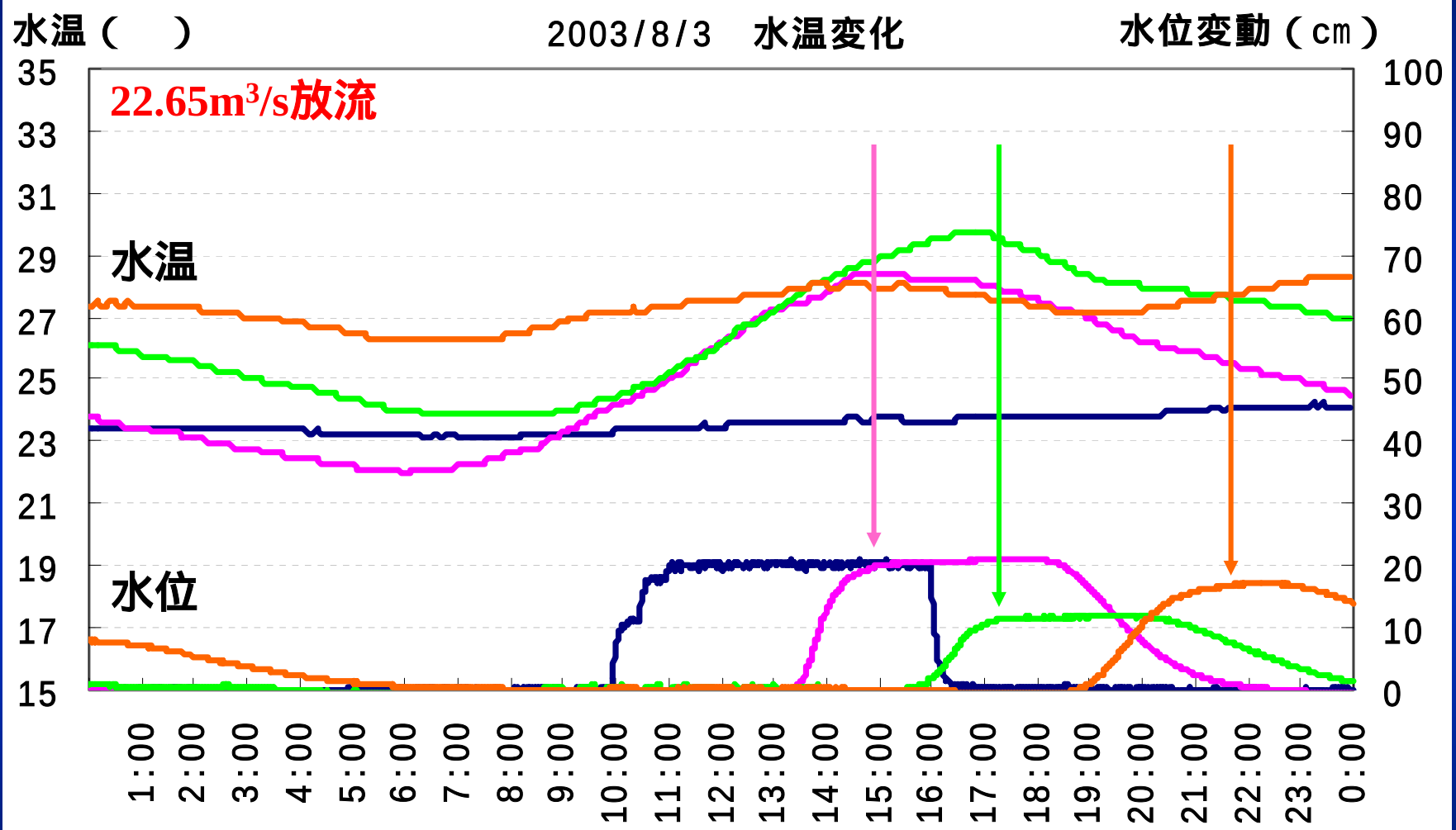


↑
10時放流開始 ピーク10時~



22.65m³/s放流時の水温変化

— 宮中 — 十日町橋
— 栄橋 — 川井

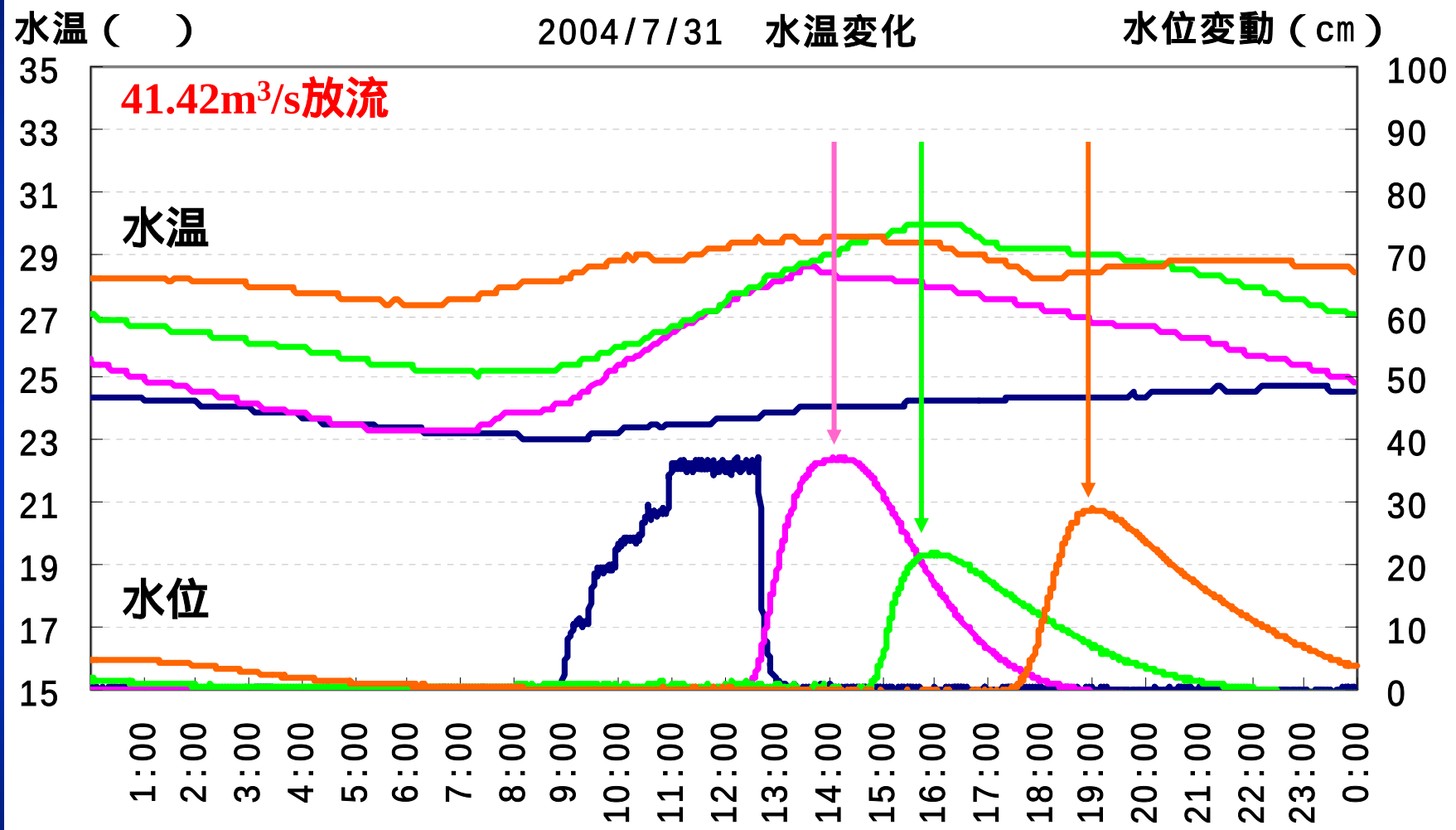


↑
10時放流開始 ピーク11時~



41.42m³/s放流時の水温変化

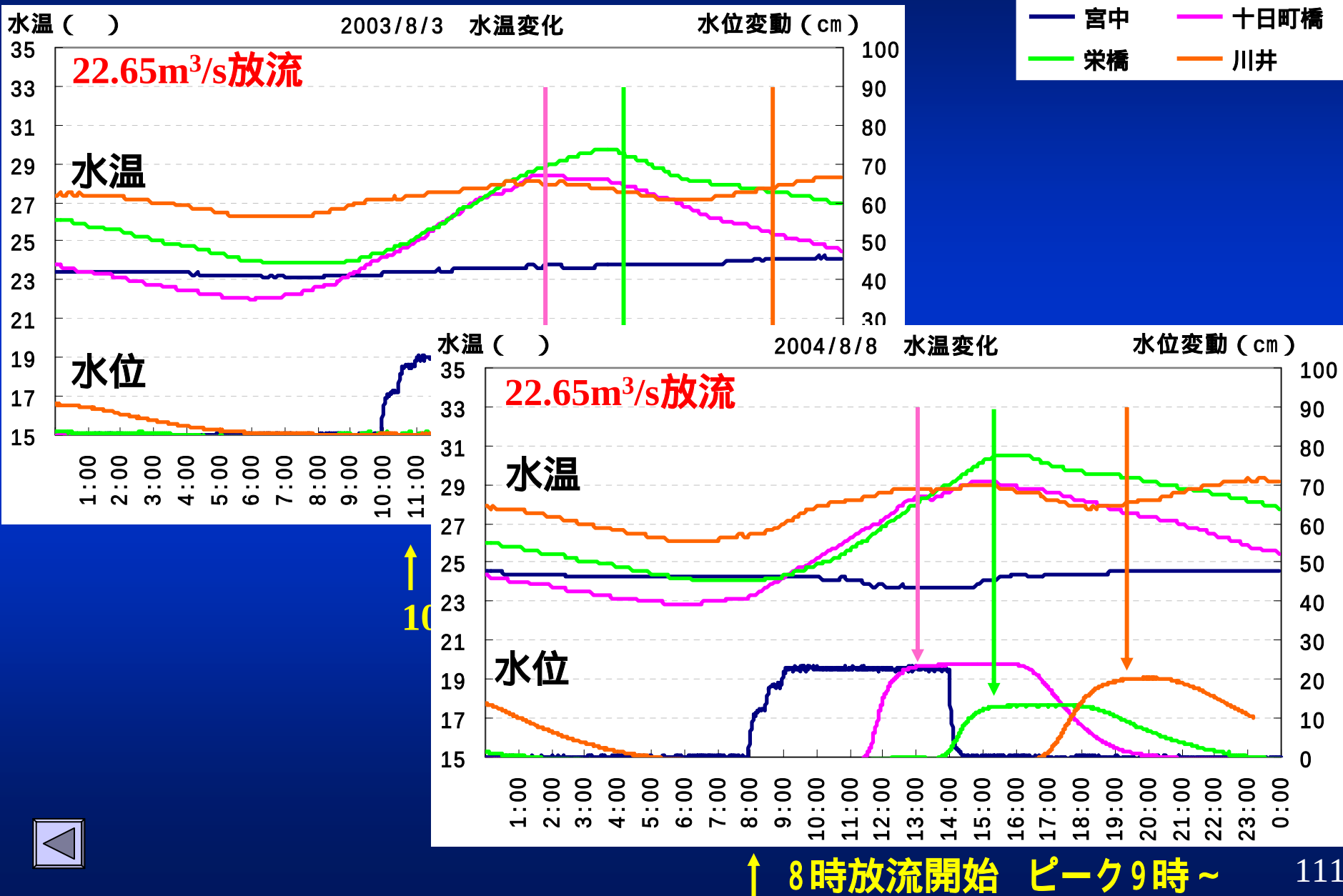
— 宮中 — 十日町橋
— 栄橋 — 川井



↑
9時放流開始 ピーク11時〜



22.65m³/s放流時のピーク時間別水温変化



41.42m³/s放流時のピーク時間別水温変化

